



特定非営利活動法人  
九州海外協力協会

### 「Risk-Taking」

事務局長の馬田です。寒かった冬がようやく終わり、暖かい春が訪れ、「新たなスタート」に向けた気持ちの高揚を感じているところです。加えて、私自身、日本で春を迎え、咲いている桜を見るのは17年ぶり、今まで過ごした数ある「春」に比べて格別にイベント感のある「春」を過ごしています。他方、海外赴任中はあまり気にならなかった「花粉症」が日本ではしっかり復活し、やや残念な思いもしています。

さて、本題です。「信頼で世界をつなぐ」。この言葉はご存知の方もいらっしゃると思いますが、独立行政法人国際協力機構（JICA）のビジョンです。私も、国際協力活動において、相手国政府や現地の人々との「信頼関係」は不可欠であると強く感じています。「信頼関係」が存在しない、または不十分な状態では、相手方からのコミットを十分に引き出せず、表面的な活動に終始してしまい、本質的な問題解決にはつながらないことが多いと思います。

翻って、私たちの日頃の業務においても、間違いなく「信頼関係」は重要です。幸い、当協会においては、これまで組織を支えて来られた方々のおかげで、すでに多方面から強い「信頼」を得ていることは実感しております。私たちはそれを失墜させないように努力すると共に、さらにこの「信頼」の輪を広げていくことを考えないといけません。

それでは「信頼」を得るために、私たちはどのようなマインドを持つべきなのでしょうか。もちろん、いつも利他性を優先し当事者意識を持って行動することは大前提になると思いますが、この場を借りて恐縮ながら私の持論を披露させていただきます。「信頼」を得る近道は「リスクを取ること」だと私は考えています。簡単に申し上げると、「信頼を得たければ、先ず相手のことを信頼しましょう」ということです。自分のことを疑っている人に対して信頼感を持つ人はあまりいないことは、何となく理解できると思います。無闇に誰でも信じる「お人好しになりましょう」と言っているわけではなく、細かい不確定要素ばかりを気にして歩み寄っていけない（リスクを取れない）と「信頼関係」は築けないと言いたいのです。これは、日頃の仕事やプライベートでの人間関係にも通じることであり、異文化環境の中ではその傾向はさらに強くなると思います。

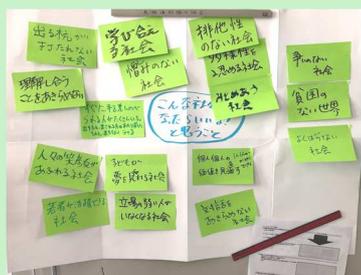


しかし、よく考えてみますと、わざわざ私がここで偉そうに述べるまでもなく、青年海外協力隊等に参加して、海外でのボランティア活動を経験した方々は、この関係性を体現しているとも言えます。全く知らない場所へ出向き、一定期間、異文化の中で生活・活動するという、ある意味大きな「リスク」を取ることによって世界各地の草の根レベルで「信頼関係」を築いて来ているのです。そして、その「信頼」の輪はさらに広がり続けています。

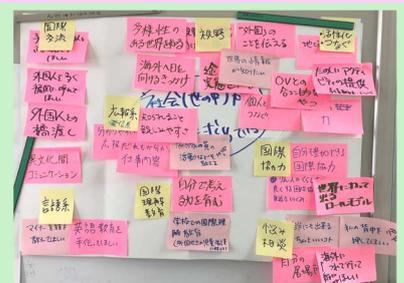
「Risk hedge」も時には重要ですが、「Risk-taking」のマインドを忘れずに活動したいと思います。



### ビジョン・ミッション



現在、事務局では当協会の「ビジョン」「ミッション」を設定すべく、熱い議論が繰り広げられています。「私たちが理想とする社会は？」「そのために私たちができることは？」「私たちが期待されていることは？」等々。団体の目的や事業内容は「定款」に謳われていますが、これをもっと簡単にわかりやすく表現し、対外的にアピール



することを目的としています。また、内部的にも自分たちの活動の方向性を再確認し、共通認識を形成するために重要な作業です。今年度の総会時には発表する予定ですので、ご期待ください。（馬田）

5ヶ月の連続講座や3年間にわたるプロジェクトの途中経過から業務外でのもろもろまで、職員よりご報告&お知らせです！

## 異文化理解講座 全5回終了しました！

10月に記念すべき第1歩を踏み出した「いっぽふみだす！異文化理解講座」は、2/18に最後の1歩を踏み出し、無事終了いたしました。講座開始前は、「誰か来てくれるかなあ」「楽しんでもらえるかしら」と戦々恐々としていましたが、全5回を終えた今、皆さんに楽しんでもらえて、**大きな大きな一歩**を踏み出してもらえて、この講座を開催してよかったなあ～としみじみと感じています。「**楽しすぎて友だちにも勧めました！**」「**街で困ってる人に声かけてみました！**」などの参加者の皆さんの言葉に勇気付けられながら1歩1歩進んで行った講座でした。参加してくださった皆様、本当にありがとうございました！！またぜひ来年度も入門編とステップアップ編ができればいいな～と考えております。ぜひご参加ください！（古泉）



(写真は最も参加者が多かった4回目！)

## 佐賀でコーヒーセレモニー 2連発！！

さらむの？（平和ですか？）元エチオピア隊員の古泉です。1/27（土）に、佐賀県国際交流プラザにておいしいコーヒーを味わいながら、「フェアトレード（公正な貿易）」の**こと**を知る「**よかやん Pole Pole Café**」が開催されました。この日はセレモニーはあくまで脇役で、参加者の皆さんにフェアトレードについて知ってもらおうのが狙い。お子さんの参加も多かったため、皆さんでわきあいあいとコーヒー豆を潰しながらエチオピアトリビアクイズなどに挑みました。

そして3/11（日）には同じく佐賀にて第3回目となる **Sagan Coffee Festa**も実施されました！3回目とあって認知度も上がり、テレビ中継があったりしてお客さんも多かったです！いつ飲んでも炒りたて淹れたてのコーヒーはおいしい～。というわけで、エチオピアと佐賀の**コーヒーコラボ2連発**。最近久しぶりにエチオピアのアムハラ語を話し、エチオピアが恋しい古泉でした。

(写真はケニアの布であるカンガとエチオピアコーヒーのコラボ！)



## ラグビーワールドカップ2019日本開催！！

こんにちは！米村です。出張ではカンボジアばかり行っている私ですが、**私の海外経験のルーツは、ニュージーランド**です。高校卒業後、2年半留学していたのですが、その目的は本場でラグビーをすることでした。今でも社会人クラブでプレーしています。

さて、皆さんご存知ですか？**2019年に日本でラグビーワールドカップが開催される**ことをっ・っ！！日本のコアなファンと、世界中のラグビーファンの間では、既に激烈なチケット争いが繰り広げられています。福岡のレベルファイブスタジアムでも試合があります！**福岡は世界中から来る観戦客でいっぱい**になることでしょう！！ホテル・居酒屋・レストランはどうぞ**異文化対応の準備**を！！市民の皆さんも言葉ではなく、**異文化を排除しない「心の態度」**を！！

さて、そんな私はラグビーワールドカップin福岡を盛り上げるべく発足した福岡県主催の推進委員会に縁あって所属しています。国際協力とは一味違いますが、大変楽しいです。**5月12日には「ワールドカップ開催500日前イベント」を警護公園で開催**する予定です！！コンテンツはお楽しみに（^^）ラグビーを知らない人でも楽しめるイベント！！これがキーワードです！協会のフェイスブックでも随時お知らせしていきます☆



## JICA青年研修初 中等理数科コース fromマレーシア 実施しました。

1/31から2/13にかけて、マレーシアの理数科教員12名を九州に迎え、青年研修を実施しました。今年の冬は**予想以上の寒さ**と**インフルエンザの大流行**により、予期せぬハプニングもいくつかありましたが、予定通りの研修を終え、研修員たちは**無事にマレーシアに帰国**しました。

研修では福岡県内の小学校や中学校、教員養成校での授業見学や日本の先生方との意見交換を中心に、福岡市教育委員会では福岡市の教育システムについての講義を受けました。また、学校以外の学びを深める場として、できたばかりの**福岡市科学館**も訪問しました。

さらに、**熊本県での災害学習**では、研修員が勤務する学校が災害後の避難所にもなりうることを学び、**人吉市での食に関する研修**では、「料理は科学だ！」ということで、酢を入れた時の黒豆ごはんの色の変わり方などから、日常生活と理科との関わりに気づきました。

そして、福岡県内でのホームステイの日や人吉からの帰り道では、ほとんどの研修員にとって**人生初体験の雪**も体験し、研修員たちは大はしゃぎしていました。

今回の研修員はマレーシアで既にリーダー・サブリーダーを決めて、**写真撮影用のバナー**（↓写真参照）も作ってくるなど、かなりチームワークがよく、また、全員で協力し合って遅刻等がないように、熱心に研修に取り組んでいました。アクションプランもレベルが高く、これからのマレーシアの発展が本当に楽しみです。実はこの研修のために年末にこっそりマレーシアを訪問していた私ですが、近い将来、アクションプランを実施中であろう研修員たちに会うためにまたマレーシアに行かねば！！と思っております。この度の研修にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！！（古泉）



## 「中学校教員指導能力向上プロジェクト」1周年を迎えました！

プロジェクトマネージャーの河野です。2017年3月1日に開始した本プロジェクトは、ちょうどカンボジアへの専門家派遣とJICA九州の案件担当者の視察時期に**1周年**を迎えました。思えば**提案までに構想6年、採択までに更に1年、契約までに更に1年と計8年**と長い年月をかけて実施に至りました。

私は教育分野の専門家ではありません。だからこそ、**固定概念にとらわれず提案できるプロジェクト**もあるのではないかと**熱い気持ち**で取り組んでおります。現地の教員へのワークショップを実施する専門家3名とJICA九州の案件担当者は日本と開発途上国で教員の経験があり、「**現場の勘**」を持っています。

プロジェクトをメインで担当しているのは私を含め4名と非常に小さなプロジェクトチームですが、その**チームワークはばっちり**です！

現地での活動と本邦研修を経て、モデル校教員との信頼関係も構築されてきました。

今回の出張は今までの活動のモニタリングを実施しましたが、**私の想像以上に先生方は真摯に生徒と向き合っていました**。モデル校の**先生方のやる気なぎる姿**を見て、カンボジアの先生からのプロジェクトへの期待をひしひしと感じました。

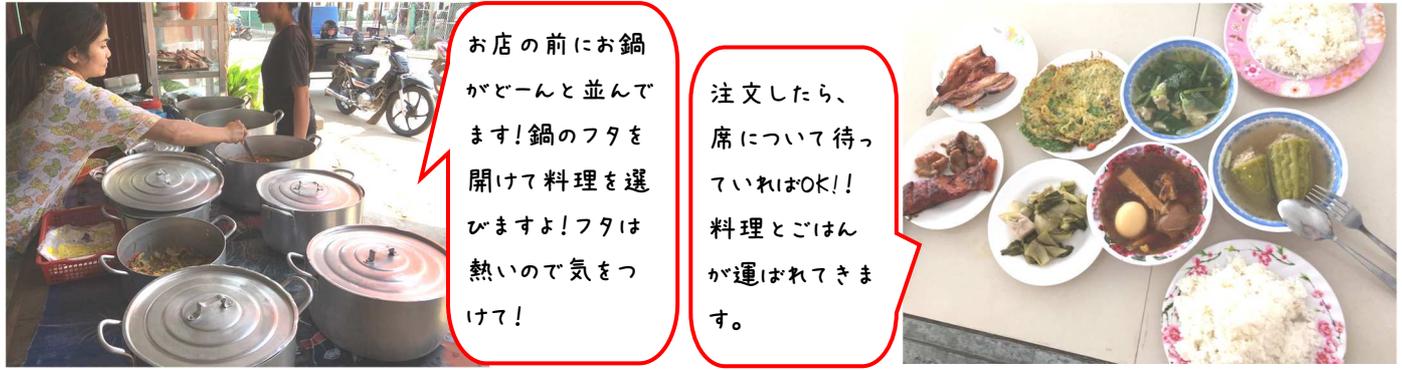
残りのプロジェクト期間をどういう計画で進めるのかを改めて考えていきたいと思っております！

（やる気なぎるモデル校2校の先生たちと  
記念撮影@バイヨン中学校）



## カンボジア歴12年の職員からひとこと！ “カンボジアでは大衆食堂に行くべし！”

カンボジア通の河野です。最近では旅行先としても人気のカンボジアですが、ごはんはどこで食べたらいのかな？と思ってらっしゃるそこのあなた！ぜひローカルご飯屋さんに行ってみてください。指差して注文できますし、お会計は紙に書いてもらえばカンボジア語ができなくたってOKです！カンボジアでお鍋がたくさん並んでいる店を見つけたら、チャレンジあるのみ！！ \*お昼に作るお店が多いので夕方以降はキケンです。



お店の前にお鍋がどーんと並んでいます！鍋のフタを開けて料理を選びますよ！フタは熱いので気を付けて！

注文したら、席について待っていろはOK!! 料理とごはんが運ばれてきます。



特定非営利活動法人九州海外協力協会  
〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館  
3F C号室  
TEL:092-415-6536  
E-mail: ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp

### (特活)九州海外協力協会 ☆会員募集中☆

当協会では、活動にご賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「九州海外協力協会だより」と「クロスロード」誌をお送りさせていただいているほか、当協会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。是非ともご入会下さい！ご関心のある方は、当協会までお問い合わせ下さい。



インスタタ的な



川端通商店街名物“川端ぜんざい”。当協会事務所より徒歩15分の川端ぜんざい広場で味わえます(金・土・日)。是非ぜんざいがたら(?) 当会にも遊びに来て下さい!

#博多観光



#世界に関心のある人とつながりたい

発行:特定非営利活動法人九州海外協力協会  
〒812-0011福岡市博多区博多駅前3-10-34Mビル3号館3FC号室  
TEL:092-415-6536 FAX:092-415-6518  
HP: <http://www.npo-kyushu.or.jp/> E-mail: ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp

